

I 教育行政

1. 教育行政

(1) 教育委員会

教育行政を執行するため教育委員会を設置する。

教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織する合議制の執行機関である。

教育長及び教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て、任命する。

教育長の任期は3年、委員の任期は4年であり、再任することができる。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。また、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を総括し、所属職員を指揮監督する。

(2) 教育長及び教育委員



知念 春美
(教育長)



普天間 みゆき
(教育長職務代理者)



大城 進
(委員)



石川 正信
(委員)



知念 菜穂子
(委員)

令和2年7月1日現在

役職名	氏名	任期
教育長	知念 春美	平成 28 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
教育長 職務代理者	普天間 みゆき	平成 30 年 7 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日
委員	大城 進	平成 28 年 12 月 25 日～令和 2 年 12 月 24 日
委員	石川 正信	平成 29 年 12 月 26 日～令和 3 年 12 月 25 日
委員	知念 菜穂子	令和 元年 7 月 1 日～令和 5 年 6 月 30 日

(3) 教育委員会の会議

教育委員会の会議は、月1回の定例会と臨時に開催される臨時会があり、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの会議開催数、付議件数とその内容は次のとおりである。

- ① 開催数 定例会 12回 臨時会 1回 合計 13回
② 件数

付議案件	定例会	臨時会	計
人事、服務関係について	2	1	3
条例、規則等の制定、改廃について	20	0	20
附属機関等の委員の任命、委嘱について	5	0	5
予算関係について	5	0	5
その他	3	0	3
合計	35	1	

(4) 歴代教育長

氏名	期間
知念俊吉	昭和47年5月15日から昭和50年6月15日まで
多和田真祐	昭和50年7月4日から昭和54年4月2日まで
宮城豊吉	昭和54年5月7日から昭和54年7月31日まで
宮里敏行	昭和54年9月13日から昭和62年3月31日まで
比嘉定英	昭和62年4月1日から平成3年3月31日まで
花城清英	平成3年4月1日から平成6年6月30日まで
普天間朝智	平成6年7月22日から平成8年5月31日まで
高宮城昇	平成8年7月26日から平成12年7月7日まで
宮城義昇	平成12年10月3日から平成16年10月2日まで
普天間朝光	平成16年10月5日から平成20年10月4日まで
宮城茂雄	平成21年4月1日から平成25年3月31日まで
玉城勝秀	平成25年4月1日から平成28年3月31日まで
知念春美	平成28年4月1日から令和4年3月31日まで

(5) 教育委員会の沿革

年 月 日	事 項
昭 27. 2.28	布令第 66 号による琉球教育法公布
3.17	布令第 70 号区教育委員並びに教育区会計係特別選挙法公布
4. 1	琉球教育法公布により、初等学校を小学校に、中等学校を中学校に改称
4	宜野湾村教育委員会発足 委員長に知念清一、委員に古波蔵信雄、前田英吉、儀間仁栄、仲村オチヨが就任
昭 29. 3.27	教育委員の前田英吉退任により、又吉亀助就任
昭 31. 3.26	教育委員の又吉亀助、古波蔵信勇退任により、石川栄良、桃原正賢就任
昭 32. 3. 3	布令第 165 号による新教育法公布 教育委員の桃原正賢退任により、島袋全一就任
昭 33. 3.	教育委員の儀間仁栄、仲村オチヨ退任により、仲村春勝、屋嘉比盛長就任
昭 34. 3. 9	教育委員の知念清一、屋嘉比盛長退任により、高橋清幸、稲福仁正就任 委員長に仲村春勝、委員に石川栄良、島袋全一、高橋清幸、稲福仁正
昭 36. 3. 9	教育委員の稲福仁正退任により、玉城宗吉就任
昭 38. 3. 8	教育委員の高橋清幸退任により、古波蔵信雄就任
昭 40. 3. 9	教育委員の玉城宗吉、古波蔵信勇退任により、崎間健一郎、桃原正賢就任
4. 1	大山学校給食センター開設
昭 41.	教育税廃止
昭 42. 3. 1	教育委員の島袋全一退任により、仲本正重就任
昭 43. 4. 1	大山幼稚園、嘉数幼稚園開園
昭 44. 3.13	教育委員の桃原正賢退任により、知念俊吉就任 委員長に知念俊吉、委員に石川栄良、仲村春勝、崎間健一郎、仲本正重
4. 1	普天間第二小学校が普天間小学校より分離開設 初代校長に登川義明就任
28	教育委員の崎間健一郎退任により、比嘉憲永就任
9. 5	宜野湾学校給食センター開設
昭 45.1.	嘉数中学校屋内運動場完成
4. 1	普天間幼稚園が開園
昭 46. 3.	嘉数小学校校舎建築
16	教育委員の仲村春勝退任により、宮城豊吉就任
4. 1	宜野湾幼稚園が開園
昭 47. 4. 1	普天間第二幼稚園開園
5.14	「教育委員法」に基づく教育区制度廃止
5.15	本土復帰に伴い、宜野湾区教育委員会が宜野湾市教育委員会となる 本土復帰により、教育委員任命制となる 委員長に仲本正重、委員に石川栄良、比嘉憲永、宮城豊吉、知念俊吉 教育委員会の機構改革により、事務局に総務課、教育課を置き、初代教育長に知念俊吉就任
12.25	普天間中学校屋内運動場完成
昭 48. 3.	嘉数中学校校舎建築
4. 1	教育委員の仲本正重、石川栄良退任により米須清與、宮城孝吉就任 委員長に米須清與、委員に宮城豊吉、比嘉憲永、宮城孝吉、知念俊吉
5. 3	復帰記念沖縄特別国民体育大会「若夏国体」開催
6. 3	教育委員の米須清與退任
10.	宜野湾幼稚園園舎建築
18	教育委員に松川正義就任
12. 3	大山小学校屋内運動場完成
昭 49. 4. 1	教育委員に松川正義再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、比嘉憲永、宮城豊吉、知念俊吉

年 月 日	事 項
昭 50. 3.17	宜野湾小学校及び普天間小学校屋内運動場完成
4. 1	教育委員に宮城孝吉再任 委員長に松川正義、委員に宮城豊吉、比嘉憲永、宮城孝吉、知念俊吉
5. 1	普天間第二学校給食センター開設
6.15	教育委員(教育長)の知念俊吉退任
27	教育委員に多和田真祐任命
7. 4	教育長に多和田真祐任命
昭 51. 3.25	嘉数小学校屋内運動場完成
4. 1	教育委員に宮城豊吉再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、宮城豊吉、比嘉憲永、 多和田真祐、大謝名小学校・幼稚園開校初代校長に伊佐常英就任
昭 52. 3.13	普天間第二小学校屋内運動場完成
31	教育委員の比嘉憲永任期満了により退任
4.1	教育委員に崎間健一郎任命、教育委員に多和田真祐再任 委員長に宮城孝吉、委員に松川正義、宮城豊吉、崎間健一郎、多和田真祐
昭 53. 3.28	大謝名小学校屋内運動場完成
31	教育委員の松川正義任期満了により退任
4. 1	委員長に宮城豊吉、委員に崎間健一郎、宮城孝吉、多和田真祐
6. 1	教育委員に花城清善任命 普天間小学校校舎建築
昭 54. 3.31	教育委員の宮城孝吉任期満了により退任
4. 1	教育委員に宮里敏行任命 委員長に宮里敏行、委員に花城清善、崎間健一郎、宮城豊吉、 多和田真祐、真志喜中学校開校初代校長に我如古盛仁就任
4. 2	教育委員(教育長)の多和田真祐辞任
5. 7	教育長に宮城豊吉任命
7. 1	教育委員に知花幸至任命
31	教育委員(教育長)の宮城豊吉辞任
9. 7	教育委員長に花城清善任命、委員に知花幸至、崎間健一郎、 宮城豊吉、宮里敏行
13	教育長に宮里敏行任命
昭 55. 3.31	教育委員の宮城豊吉任期満了により退任
4. 1	機構改革に伴い保健体育課が新設される
6.25	真志喜中学校屋内運動場完成
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫任命
9. 1	真志喜学校給食センター開設
7	教育委員長に花城清善再任、委員に知花幸至、崎間健一郎、諸喜田哲夫、宮里敏行
昭 56. 3.31	教育委員の崎間健一郎、知花幸至任期満了により退任
6.29	教育委員に知花幸至(再任)、恵敏行任命、教育委員長職務 代理者に知花幸至就任
3	宜野湾市立嘉数高台プール完成
7.1	宜野湾市立グラウンド完成
9.3	宜野湾小学校プール完成
昭 57. 4. 1	志真志小学校開校初代校長に宮城真英就任 志真志幼稚園開園

年 月 日	事 項
昭 57. 6. 1	教育委員に花城清善再任、教育委員長に花城清善就任
12.25	委員に知花幸至、諸喜田哲夫、恵敏行、宮里敏行 宜野湾市民会館開館
昭 58. 3. 7	志真志小学校屋内運動場完成
15	普天間小学校プール完成
4. 1	教育委員に宮里敏行再任 教育長に宮里敏行再任
6. 1	教育委員長に花城清善就任 委員に知花幸至、諸喜田哲夫、恵敏行、宮里敏行
昭 59. 4. 1	宜野湾市立中央公民館開館
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫再任
昭 60. 6.28	教育委員の知花幸至、恵敏行任期満了により退任
12.1	教育委員長に諸喜田哲夫就任 委員に花城清善、宮里敏行
24	教育委員に普天間朝英、天久勇吉任命
昭 61. 1.17	宜野湾中学校校舎完成
3.14	嘉数小学校プール完成
18	普天間中学校校舎改築
25	宜野湾市立体育館完成、宜野湾中学校屋内運動場完成
4. 1	宜野湾中学校開校 初代校長に仲村将弘就任
5. 1	教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
7. 1	教育委員に宮城武雄任命
10.17	宜野湾中学校屋外運動場照明施設完成
昭 62. 3. 4	宜野湾中学校プール完成
13	宜野湾市立野球場完成
14	普天間中学校プール完成
4. 1	比嘉定英教育長に任命
9. 2	第 42 回国民体育大会「海邦国体」(夏季大会)開催
10.25	第 42 回国民体育大会「海邦国体」(秋季大会)開催
12. 1	教育委員長に宮城武雄就任
昭 63. 1.11	宜野湾市立多目的屋内運動場完成
2. 9	大謝名小学校プール完成
29	真志喜中学校プール完成
3. 2	パソコンによる個別学習の導入
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫再任
12. 1	教育委員長に宮城武雄再任
平 元. 1. 8	年号昭和から平成に変わる
4. 1	宜野湾市公共施設管理公社設立
9.12	衆議院沖特委による普天間第二小学校視察来市
25	嘉数小学校屋外運動場照明施設完成
12. 1	教育委員長に諸喜田哲夫就任
24	教育委員に普天間朝英、天久勇吉再任
平 2. 1. 8	委員長職務代理者に天久勇吉就任
4. 1	宜野湾市立教育研究所設置
7. 1	教育委員に宮城武雄再任
11. 1	普天間中学校屋外運動場証明施設完成
12. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
平 3. 3.31	志真志小学校プール完成

年 月 日	事 項
平 3.3.31	嘉数中学校内運動場柔剣道場完成 教育委員(教育長)の比嘉定英任期満了により退任
4. 1	教育長に花城清英任命
9.21	宜野湾市立体育館空調設備設置
11.27	宜野湾市民図書館開館
11.30	大山小学校校舎改築完成
12. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
16	大山小学校プール完成
平 4. 1.	真志喜中学校屋外運動場照明施設完成
5. 1	機構改革に伴い、二部体制実施(教育部、指導部)
7. 8	教育委員に諸喜田哲夫再任
平 4.12. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に普天間朝英就任
平 5. 3.22	大山小学校屋内運動場改築
平 5.12. 1	教育委員長に宮城武雄就任、教育委員長職務代理者に 諸喜田哲夫就任
23	教育委員の普天間朝英任期満了により退任
24	教育委員に天久勇吉再任 教育委員に伊佐ハツ任命
平 6. 1. 5	宜野湾小学校校舎改築
3.18	嘉数中学校プール完成
6. 3	教育委員長の宮城武雄任期満了により退任 教育委員(教育長)の花城清英辞任
7. 1	教育委員長に天久勇吉就任、教育委員長職務代理者に 諸喜田哲夫就任 教育委員に普天間朝智任命
22	教育長に普天間朝智任命
10. 2	教育委員に知名定昭任命
平 7. 2.24	普天間幼稚園園舎改築
28	嘉数幼稚園園舎改築
3. 1	普天間中学校屋内運動場改築
4. 1	教育委員に知名定昭再任
7. 1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に知名定昭就任
平 8. 3.31	普天間第二幼稚園園舎改築、普天間第二小学校校舎及び 屋内運動場改築普天間第二小学校プール完成
5.31	教育委員(教育長)の普天間朝智辞任
7. 1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に伊佐ハツ就任
7	教育委員の諸喜田哲夫任期満了により退任
8	教育委員に玉那覇仁、高宮城昇任命
26	教育長に高宮城昇任命
平 9. 7.1	教育委員長に天久勇吉再任、教育委員長職務代理者に伊佐ハツ就任
12.23	教育委員の天久勇吉、伊佐ハツ任期満了により退任
24	教育委員に仲本實、伊佐好子任命 教育委員長に知名定昭再任、教育委員長職務代理者に玉那覇仁就任
平 10. 1.28	宜野湾小学校屋内運動場改築
7. 1	教育委員に玉那覇仁任命
12.24	教育委員長に玉那覇仁就任
平 11. 1.18	教育委員長職務代理者に仲本實就任
2.15	長田幼稚園園舎完成長田小学校校舎及び屋内運動場完成

年 月 日	事 項
4. 1	長田小学校開校初代校長に奥間輝夫就任、長田幼稚園開園 教育委員の知名定昭任期満了により退任、教育委員に桃原隆任命
6. 1	宜野湾市立博物館開館
12.24	教育委員長に玉那覇仁再任、教育委員長職務代理者に仲本實就任
平 12. 4. 1	教育部に施設課を設置
7. 7	教育長の高宮城昇、任期満了により退任
9	国際平和子どもサミットINぎのわん開催
10. 3	教育委員に宮城義昇任命、教育長に宮城義昇任命
12.24	教育委員長に仲本實就任、教育委員長職務代理者に伊佐好子就任
平 13. 3.30	宜野湾幼稚園園舎改築
10.31	大謝名小学校校舎改築
12.23	教育委員の仲本實任期満了により退任
24	教育委員の伊佐好子再任 教育委員に宮城朝春任命
25	教育委員長に桃原隆就任、教育委員長職務代理者に伊佐好子就任
平 14. 1.31	嘉数幼稚園園舎増改築完成
3. 3	宜野湾市民図書館移動図書館「ちゅらゆめ号」巡回開始
3.15	宜野湾小学校水泳プール改築完成
4. 5	大謝名小学校地域学校連携施設完成
6. 3	教育委員の玉那覇仁任期満了により退任
7. 1	教育委員に嘉手苺喜郎任命
9. 1	はごろも学習センター開所
平 15. 1.15	教育委員長に伊佐好子就任、教育委員長職務代理者に宮城朝春就任
8.29	内閣府より構造改革特別区域計画「宜野湾市英語教育特区」の認定を受ける
11.14	大山学校給食センター増改築完成
平 16. 1.15	教育委員長に嘉手苺喜郎就任、教育委員長職務代理者に宮城朝春就任
3.15	教育委員会事務所バリアフリー施設整備完成
24	長田小学校校舎増築
26	普天間第二小学校総合遊具設置
4.19	「宜野湾市英語教育特区」普天間小学校、志真志小学校にて英語授業開始
21	宜野湾市立グラウンド全天候型へ改修
3	宜野湾学校給食センター改築
6.14	幼稚園預かり保育開始(普天間第二幼稚園、志真志幼稚園)
10. 2	教育長の宮城義昇任期満了により退任
5	教育委員に普天間朝光任命、教育長に普天間朝光任命教育委員に新垣英子任命
平 17. 1.16	教育委員長に嘉手苺喜郎再任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
4.12	幼稚園預かり保育 4 園に拡大(普天間幼稚園、普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、宜野湾幼稚園)
18	「宜野湾市英語教育特区」市内全小学校英語授業開始
12.23	教育委員の宮城朝春、伊佐好子任期満了により退任
26	教育委員に玉寄澄子、佐渡山美智子任命
平 18. 1.16	教育委員長に嘉手苺喜郎再任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
2.24	大謝名幼稚園園舎増改築
4. 1	幼稚園預かり保育 6 園に拡大 (H16 普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、 H17 普天間幼稚園、宜野湾幼稚園、 H18 大山幼稚園、大謝名幼稚園)
6.30	教育委員長の嘉手苺喜郎、任期満了により退任
7. 3	教育委員に玉城勝秀任命

年 月 日	事 項
18	教委育委員長に玉城勝秀就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
平 19. 4. 1	幼稚園預かり保育全園に拡大(H16 普天間第二幼稚園、志真志幼稚園、H17 普天間幼稚園、宜野湾幼稚園、H18 大山幼稚園、大謝名幼稚園、H19 嘉数幼稚園、長田幼稚園) 幼稚園2年保育モデル事業スタート(嘉数幼稚園、長田幼稚園)
7.18	教育委員長に玉寄澄子就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
8.10	宜野湾市民図書館インターネット蔵書検索システム開始
9.28	嘉数中学校校舎改築
8.22	大山給食センター増築
平 20. 7.18	教育委員長に玉寄澄子就任、教育委員長職務代理者に新垣英子就任
9. 3	市民会館舞台照明改修工事完了
10. 4	教育委員長職務代理者の新垣英子、教育長の普天間朝光、任期満了により退任
6	教育委員長職務代理者に佐渡山美智子就任
12.22	教育委員に高江洲善勝任命
平 21. 3.30	市民図書館入退館システム導入事業完了
4. 1	教育委員に宮城茂雄任命、教育長に宮城茂雄任命
7.18	教育委員長に高江洲善勝就任
21	教育委員長職務代理者に佐渡山美智子就任
12.25	教育委員長職務代理者の佐渡山美智子、教育委員の玉寄澄子、任期満了により退任
26	教育委員長職務代理者に上原助勝就任
平 22. 1.29	嘉数小学校校舎増改築
5.17	(仮称)大山小学校分離新設校、幼稚園の基本構想、基本計画の策定
6.30	教育委員の玉城勝秀退任
7. 1	教育委員に島崎映子、宮城典子任命
18	教育委員長に上原助勝就任、教育委員長職務代理者に高江洲善勝就任
8. 1	平成22年度全国高等学校総合体育大会(アーチェリー、卓球)開催
12. 1	宜野湾中学校校舎大規模改造
平 23. 3. 5	宜野湾市立博物館友の会発足
7.18	教育委員長に上原助勝再任、教育委員長職務代理者に島崎映子就任
28	大山小学校分離新設校の名称をほごろも小学校、幼稚園に決定同校の通学区域を設定
11. 3	宜野湾市民図書館開館20周年記念式典開催
平 24. 3.29	真志喜中学校校舎改築
7.18	教育委員長に島崎映子就任、教育委員長職務代理者に宮城典子就任
9. 5	宜野湾市民図書館「授乳室」設置工事
12.21	教育委員の高江洲善勝、任期満了により退任
25	教育委員に我謝修任命
平 25. 3.31	教育長の宮城茂雄、任期満了により退任
4. 1	教育委員に玉城勝秀任命、教育長に玉城勝秀任命
7.18	教育委員長に宮城典子就任教育委員長職務代理者に我謝修就任
12.25	教育委員の上原助勝、任期満了により退任
26	教育委員に宮城邦子任命
平 26. 3.20	ほごろも小学校校舎・幼稚園園舎完成
4. 1	ほごろも小学校開校 初代校長に高森新一就任、ほごろも幼稚園開園
1	新三学期制度実施 幼稚園2年保育全園に拡大

年 月 日	事 項
平 26. 6.30	教育委員長の宮城典子、教育委員の島崎映子、任期満了により退任
7. 1	教育委員長に我謝修就任、教育委員長職務代理者に宮城邦子就任
1	教育委員に平良明子、諸喜田徹任命
3. 19	宜野湾市立博物館「博物館登録原簿」登録
平 27. 4. 1	宜野湾学校給食センター調理業務等民間委託 子ども子育て支援新制度施行
7. 1	教育委員長に宮城邦子就任、教育委員長職務代理者に諸喜田徹就任
8.	宜野湾市教育振興基本計画の策定
11. 1	ぎのわん教育の日 制定
14	「ぎのわん教育の日」制定記念大会
平 28. 1.22	宜野湾市教育大綱策定
3.31	教育長の玉城勝秀退任
4. 1	教育長に知念春美就任
18	教育長職務代理者に諸喜田徹就任
11.20	「ぎのわん教育の日」第 1 回表彰式典及び記念講演会
12.24	教育委員の我謝修、任期満了により退任
12.25	教育委員に大城進任命
平 29. 4. 1	宜野湾市立はごろも学校給食センター 供用開始 大山学校給食センター、はごろも学校給食センター調理業務等民間委託
21	教育長職務代理者に平良明子就任
22	宜野湾市立博物館常設展示室リニューアルオープン
5.2	沖縄国際大学との連携調印式
11.29	志真志幼稚園園舎完成
12.25	教育委員の宮城邦子、任期満了により退任
26	教育委員に石川正信任命
平 30.3.20	志真志小学校体育館完成
4.3	教育長職務代理者に大城進就任
6.30	教育委員の諸喜田徹、任期満了により退任
7. 1	教育委員に普天間みゆき任命
平 31.4. 1	教育長に知念春美再任
4.25	教育長職務代理者に石川正信就任
令元.5. 1	年号平成から令和に変わる
6. 1	宜野湾市立博物館開館 20 周年記念
30	教育委員の平良明子、任期満了により退任
7. 1	教育委員に知念菜穂子任命
.10	志真志小学校校舎改築
令 2.3.27	教育長職務代理者に普天間みゆき就任

(6) 第四次宜野湾市総合計画 基本構想

人がつながる 未来へつなげる ねたてのまち 宜野湾

- 未来を担う子ども達の健全な成長を支援する体制の整備を進める。
- 宜野湾市の魅力の創出及び発信に取り組む。
- 基地の早期返還を求め、安全で快適な日常生活ができる環境づくりを進める。
- 今後の宜野湾市を牽引する人材の育成を進める。

以上4つのまちづくりの方向性を掲げ、活気にあふれ、豊かで住みよいまちを目指す。

(7) 宜野湾市教育振興基本計画 基本理念

「基本理念」は、平成28年度から令和2年度までの5年間に推進する本市教育の基本的な考え方と目指すべき姿を示したものである。

◇基本理念◇

学び合い、未来を切り拓く人材の育成

国の第2期教育振興基本計画のコンセプトとして「今、我が国に求められているものは、自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学びである。」とされている。宜野湾市の教育においても、この「自立」「協働」「創造」を基軸とした教育施策を推進していく。

本市には3つの高等学校や、近隣も含めた3つの大学、専門学校やコンベンションセンターが立地し、多様な人が行き来する国際性豊かなまちである。多くの高等教育機関を身近に感じ、これらの機関と連携、協力して様々な教育活動を推進していくことのできる教育的優位性を活かしながら、本計画では、子どもたちが自ら学び、自ら考えるなど、知・徳・体の調和のとれた力「生きる力」を基本としている。その理念をさらに発展させ、社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を高めていく。その中で、モデルとなる大人が社会でどのように生き、何が必要とされているのかを見せることによって学ぶことの意義を子どもたちに伝えるような環境づくりが大切である。

学校・家庭・地域が学びや活動をとおして、つながり、支え合いながら成長することにより、「人間力」を高め、夢の実現に向けて未来を切り拓くことのできる人材、そして地域から世界につながり活躍できる人材の育成を目指す。

(8) 計画の基本方向

基本理念を踏まえつつ、以下に本計画の3つの基本方向を示す。

(1) 生きる力を育む ”ひとづくり”

・ 宜野湾市の教育の中心には子どもたちがいる。未来を生きる子どもたち誰もが自立した一人の人間として夢に向かって力強く生きていくとともに、社会の一員として役割を果たすことができる「未来を担う人間力」を身に付けることは大切である。自らが主体的に課題を解決できる知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指す。

(2) 学校に関わる人たちが活動をとおしてつながる ”学校づくり”

・ 子どもたちの周りには学校がある。子どもたちだけではなく、その成長を支える保護者地域の人たちも学校を支援しながら、学びや生きがいづくりにつなげていく。また、全ての教師が教育の専門家として成長できるよう支援し、学校に関わる人たちが交流や活動をとおして連携、協力することにより地域に開かれた魅力ある学校づくりを目指す。

(3) 地域が学びをとおしてつながる ”まちづくり”

・ 大人自身も教養や趣味の世界を広げ、豊かな学びと人間性を培えるよう市民へ学習機会の提供をしてくるとともに、市民が地域社会とつながるための多様な社会参加の場を創りだし、活動をとおした人材育成を推進し、地域へ還元していく仕組みづくりに取り組む。大人も子どもも地域を知り、つながり、学び、行動していくこと。そして今を生きる人たちとつながるだけでなく、未来へつながる、まちづくりを目指す。

(9) 計画の基本目標

基本目標 1. 確かな学力の向上

子どもたちが社会の様々なことに興味・関心をもって自らすすんで学習に取り組むとともに、学びによって得た知識・技能を活用する力と、他者と協働するためのコミュニケーション力・語学力、異文化に対する理解や日本人としてのアイデンティティを培っていくなど、グローバル化を見通した人材育成は重要な視点である。子どもたちが体験活動をとらして学ぶ楽しさを感じたり、自立心を培うなど、意欲の向上につながる取組を推進する。

また、子どもたち一人一人が自らの将来について夢や希望を持つことは、学ぶ意義を認識したり学習意欲の向上、学習習慣の定着につながることから、子どもたちの視野を将来にまで広げ、サポートしていくためキャリア形成教育の充実を図り、生涯にわたって学び続ける姿勢を身につける教育活動を進める。

基本目標 2. 豊かな心・健やかな体の育成

自他の違いを認め、年齢の異なる人、障がいを持った人、外国人など異なる文化や価値観を持った人たちと共に生きるための豊かな心や、社会の一員としての規範意識など、社会性を育成する取組を行うとともに、いじめや不登校、児童生徒の問題行動の未然防止、早期対応を行うため教育相談体制の充実を図る。

また、たくましく生きるための健やかな体を育む教育を進めるとともに、学校給食を通して正しい食生活への理解と望ましい食習慣の形成を図るよう食育への取組を推進する。

基本目標 3. 地域と連携した教育活動の充実

子どもたちの環境は、情報化、価値観の多様化も含めてどんどん変化しており、学校はこれまで以上に様々な課題を抱えていることから、学校が地域の力を借りて学校づくりをしていくことが必要になっている。保護者や地域の方々に学校教育活動に関する情報の積極的な発信に務めるとともに、学校が必要とする活動について地域人材をボランティアとして派遣する組織である「学校支援地域本部」を充実させ、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより教職員をサポートしていく。

また、学校をはじめ地域における子どもの居場所づくりを積極的に推進していく。地域住民、社会教育関係団体、NPO、大学生など様々な人材を活用しながら、学校や公民館等、子どもの身近な場所で体験や交流活動、学習支援を行うなど地域ぐるみで子どもを育成する体制づくりに取組む。同時に学校支援活動を通じて、地域の大人の生涯学習や自己実現、生きがいづくりに資するとともに、学校と地域、地域と地域をつなげる取組を推進する。

基本目標 4. 教職員の指導力の向上

学校の教育力とは、教職員の実践的指導力といっても過言ではない。様々な研修プログラムの設定、近隣大学や地域内外の多様な人々との協働実践を図りながら、校内研修の充実に努めるとともに、様々な教育課題からテーマを設定した研究活動への参加促進を図り、教育課題の解決に向けた意欲的な取組や成果を広げながら、教職員の人材育成に努める。

また、電子黒板、タブレットPCやデジタル教科書等のICTを活用した授業の活性化を図ることにより、子どもたちへより細かな指導と効果的な授業が展開できるよう、教職員のICT活用指導力向上に努め、授業力の向上を図る。

基本目標 5. 教育環境の充実

安全・安心な教育環境を確保することにより、学校の教育力が高められる。

子どもたちが事故、犯罪や自然災害等に巻き込まれないよう通学路や施設の安全点検を実施するとともに、地域、関係機関が連携して子どもの見守り活動等の充実に努める。

施設などのハード面では、学校施設の耐震化、老朽化対策を進め、学習環境の学校間における格差をなくするとともに、地域施設としての学校の役割を考慮し、防災拠点としての機能の充実に努める取組を進める。

学習教材等の面では、各学校へ電子黒板、タブレットPCやデジタル教科書等の導入を進め「わかる授業」の展開と活性化を図る。また校務用コンピュータの整備、活用の充実に努め教職員の授業の準備や校務事務の効率化を図ることにより、子どもに向き合う時間を確保し、子ども一人一人の能力が伸ばせるようICT環境の整備を積極的に進めていく。

学校図書館については、児童生徒の読書活動の充実と学習支援に向けて学校間や市民図書館との連携・協力体制を強化した取組を進める。

多忙を極める教職員の労働環境の充実に向けは、部活動や行事のあり方の見直し、校務事務の効率化、学習支援員やボランティア等外部人材を積極的に活用するなどして教職員の多忙化解消に努める。

また、社会問題となっている教職員の心因性による休職者の増加については、産業医、臨床心理士等専門家を活用したメンタルヘルス対策の充実に努め、学校職員の健康保持、増進に関する取組を推進する。

基本目標 6. 生涯をとおした学びの推進

市民一人一人が豊かな人生を過ごしていくためには、生涯をとおして自ら学び深めていくことが大切である。豊かな学びを創るため、市民図書館や中央公民館など学びの拠点施設を中心とした学習支援や芸術文化、スポーツ・レクリエーション活動を推進していく。

また、家庭環境の多様化、地域社会の変化にともない、家庭が抱える様々な課題の解決に向けて、親と子の育ちを支援する学習機会の提供、地域と協力して子どもの望ましい生活習慣の定着を図るなど、家庭の教育力向上に向けた支援体制の充実を図る。宜野湾市では大人と子どもが共に学び、学びを広げることにより地域のつながりを築いていく。そして地域の子どもたちを地域に貢献する人材に育てることにより次の世代を育成する世代間循環サイクルを構築していく。

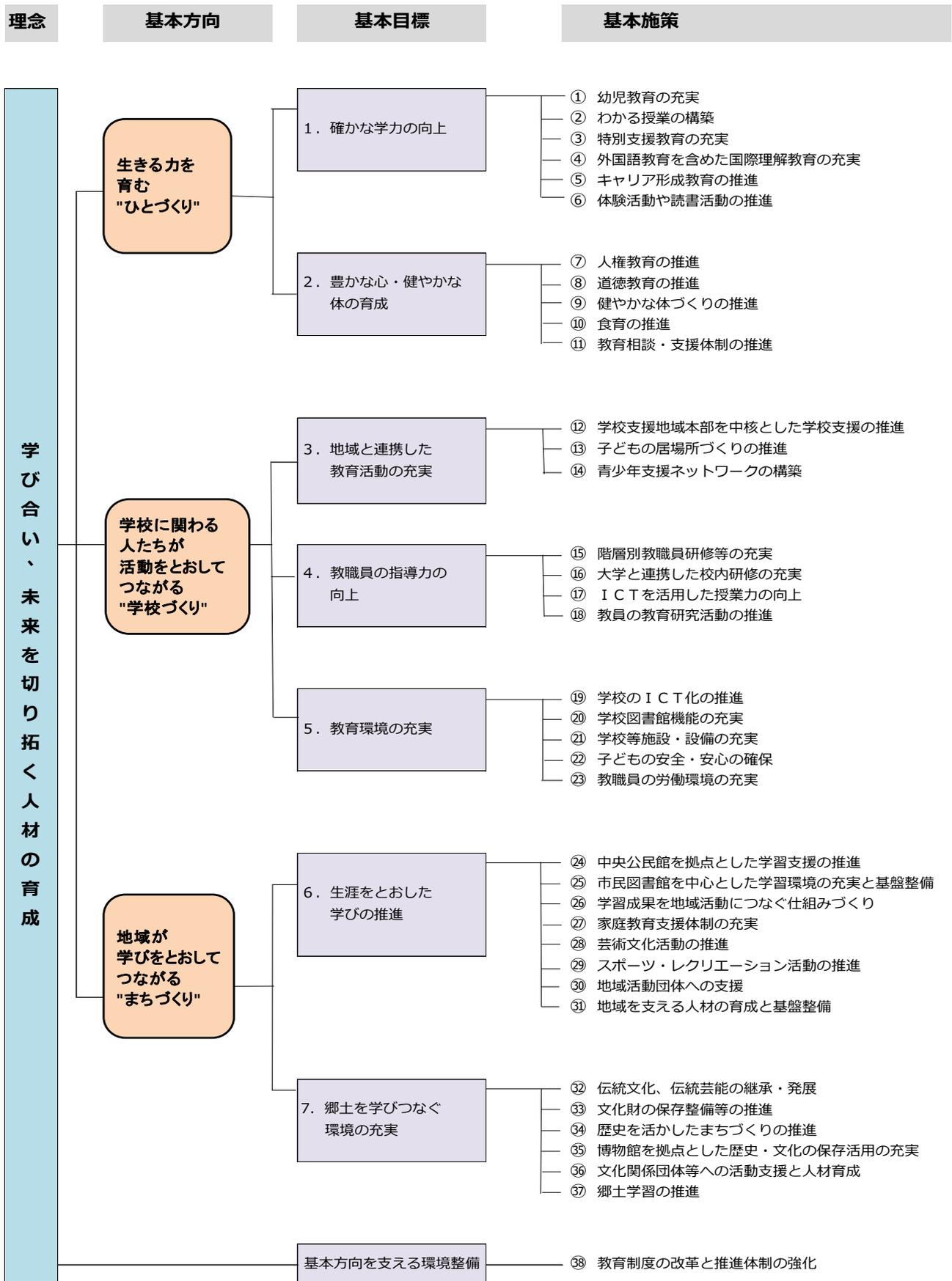
また、学びをとおした自己実現の支援とともに学習成果を地域社会や学校教育に還元できる地域のキーパーソンを育成するため、市民大学の開校を目指した取組を進めるとともに、近隣の高等学校や大学等との連携をとおした教育活動の充実に取組む。

基本目標 7. 郷土を学びつなぐ環境の充実

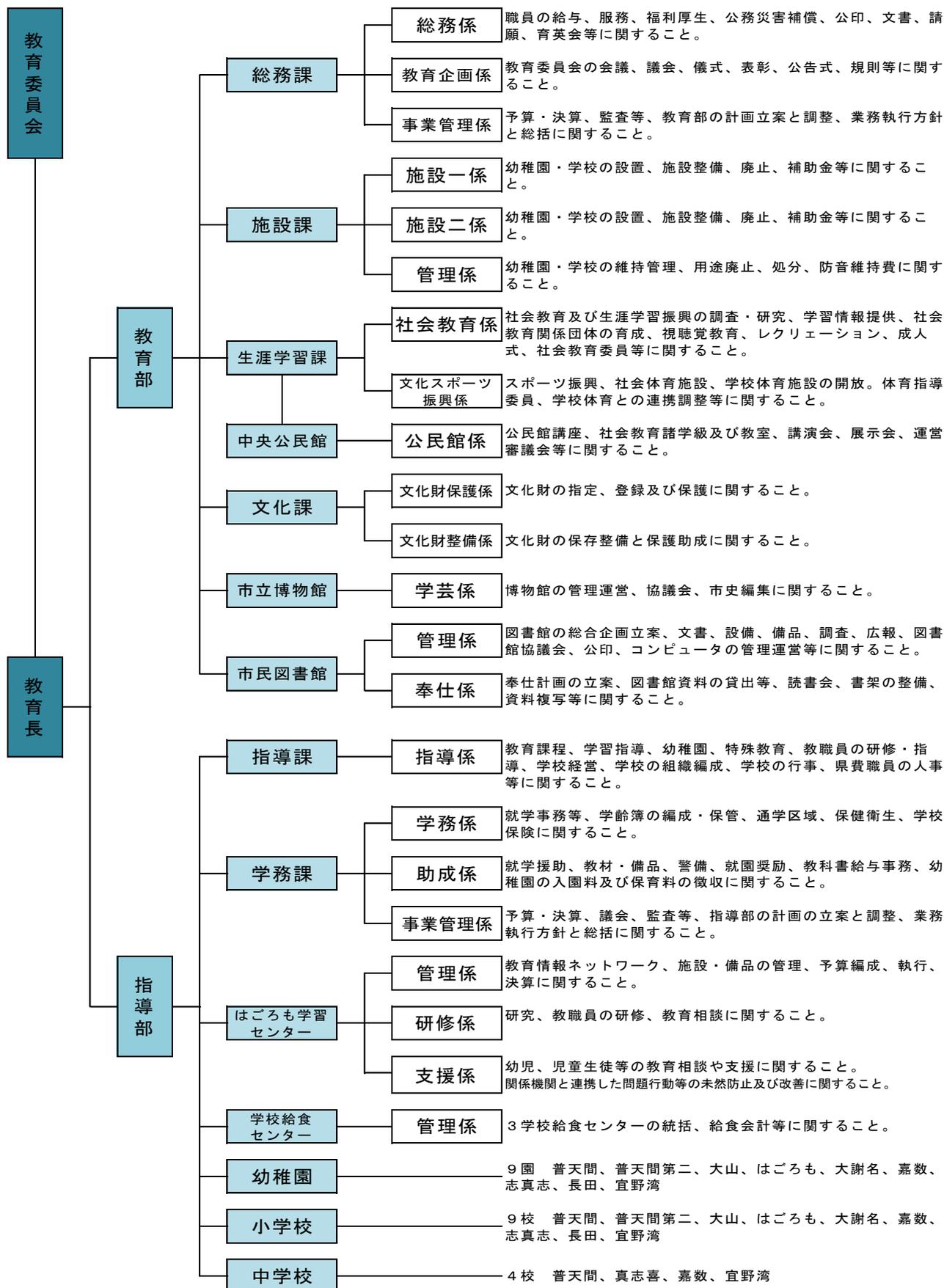
グローバル化の進展にともない人、モノ、情報が行き交い多様な交流が活発化していく中、ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域とのつながりを大切にしながら国際社会に羽ばたく人材を育成するため、学校の教育課程において郷土学習の実践を進めるなど、郷土の自然、歴史や文化、偉人などに学び親しむ環境づくりを進めるとともに、将来的に貴重となる公文書や地域の歴史、文化に関する地域資料を積極的に収集、保存する取組を推進する。

また、文化財ガイド等の育成に努め、地域資源や人材を活用したまちづくりを推進する。

(10) 施策



(11) 教育委員会事務局等の機構と事務分掌の概要



(12) 教育委員会職員配置表

令和2年5月1日

		部長	次長	課長	所長・館長	主幹・技幹	係長	担当主査 担当主査	主事・主査	技師・技査	副園長	教諭	司書	施設管理員	合計
教育部	部長	1													1
	総務課		[1]				3		4						8
	施設課			1		[1]*	2	1	1	6					12
	生涯学習課 (中央公民館)			<1>*			3	1	5						10
	文化課			1			2	2	4						9
	市立博物館				1		1								2
	市民図書館				[1]*		1		4						6
小計	1	1	3	2	1	12	4	18	6	0	0	0	0	48	
指導部	部長	(1)													1
	指導課			(1)			1	(3)	2						7
	学務課		[1]				3		5						9
	はごろも学習センター				1		2 (1)	1	2						7
	給食センター				1		1		3						5
	幼稚園(9園)										9	22			31
	小学校(9校)								2				2	6	10
中学校(4校)														0	
小計	1	1	1	2	0	8	4	14	0	9	22	2	6	70	
合計	2	2	4	4	1	20	8	32	6	9	22	2	6	118	

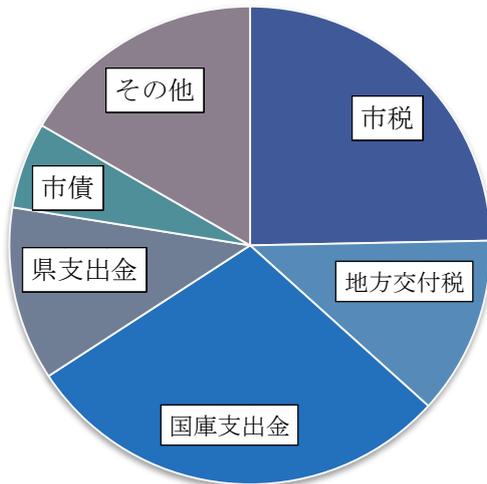
[]課長兼務 <>*所長・館長兼務 []*係長兼務 ()指導主事
再任用職員、会計年度任用職員、嘱託職員は除く。

2. 教育財政

(1) 令和2年度一般会計当初予算事項別明細

歳入

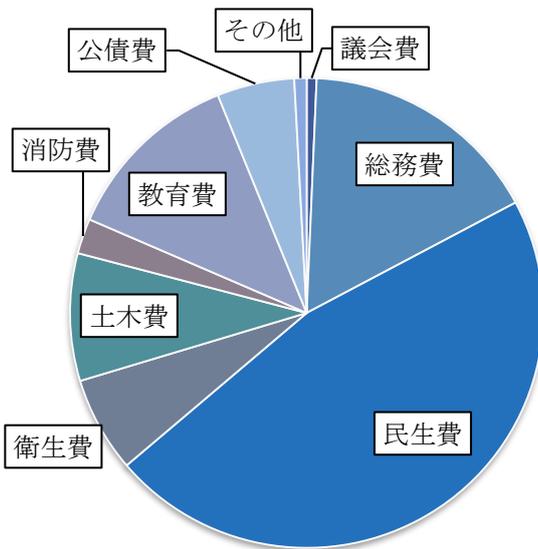
単位:千円



市税	11,376,438	24.7%
地方交付税	5,552,902	12.0%
国庫支出金	13,391,830	29.1%
県支出金	5,420,614	11.8%
市債	2,684,249	5.8%
その他	7,663,967	16.6%
合計	46,090,000	100.0%

歳出

単位:千円



議会費	310,293	0.7%
総務費	7,622,591	16.5%
民生費	21,452,918	46.5%
衛生費	3,027,631	6.6%
土木費	4,043,515	8.8%
消防費	1,112,122	2.4%
教育費	5,698,526	12.4%
公債費	2,434,130	5.3%
その他	388,274	0.8%
合計	46,090,000	100.0%

(2) 令和2年度教育予算関係の項目

単位:千円

款	項	目	名称	本年度	前年度	比較	伸び率	
10			教育費	5,698,526	4,372,519	1,326,007	30.3%	
	1		教育総務費	918,894	805,294	113,600	14.1%	
		1	教育委員会費	3,589	3,703	△ 114	△ 3.1%	
		2	事務局費	448,350	446,342	2,008	0.4%	
		3	教育指導費	336,829	278,214	58,615	21.1%	
		4	学校施設費	130,126	77,035	53,091	68.9%	
	2		小学校費	1,911,200	892,805	1,018,395	114.1%	
		1	学校管理費	347,507	352,709	△ 5,202	△ 1.5%	
		2	教育振興費	199,235	187,810	11,425	6.1%	
		3	学校建設費	1,364,458	352,286	1,012,172	287.3%	
	3		中学校費	477,149	468,357	8,792	1.9%	
		1	学校管理費	125,117	125,151	△ 34	△ 0.0%	
		2	教育振興費	145,119	157,854	△ 12,735	△ 8.1%	
		3	学校建設費	206,913	185,352	21,561	11.6%	
	4		幼稚園費	845,082	521,333	323,749	62.1%	
		1	幼稚園費	845,082	521,333	323,749	62.1%	
	5		社会教育費	924,691	1,114,746	△ 190,055	△ 17.0%	
		1	社会教育総務費	234,397	231,842	2,555	1.1%	
		2	公民館費	12,452	12,560	△ 108	△ 0.9%	
		3	文化費	293,488	297,558	△ 4,070	△ 1.4%	
		4	図書館費	81,119	75,393	5,726	7.6%	
		5	市史編集費	25,291	24,974	317	1.3%	
		6	博物館費	74,612	30,260	44,352	146.6%	
		7	学習センター費	203,332	442,159	△ 238,827	△ 54.0%	
	6		保健体育費	621,510	569,984	51,526	9.0%	
		1	保健体育総務費	44,769	43,182	1,587	3.7%	
		3	給食センター費	576,741	526,802	49,939	9.5%	
	2		総務費	336,829	258,671	78,158	30.2%	
		1		総務管理費	336,829	258,671	78,158	30.2%
			8	市民会館費	336,829	258,671	78,158	30.2%
	合 計				6,035,355	4,631,190	1,404,165	30.3%

3. 育英会事業

(1) 目的

本会は、優秀な人材で経済的理由によって修学困難な者に対し学資を貸与し、その他育英上必要な業務を行って有為な人材を育成することを目的とする。

(2) 概要

① 名称: 宜野湾市育英会

② 創立年月: 昭和 35 年 4 月

(昭和 46 年～昭和 53 年まで業務中断。昭和 54 年より松岡配電育英資金を合併し業務再開)

③ 所在地: 宜野湾市字野嵩 730 番地(宜野湾市教育委員会総務課内)

④ 事業: 奨学育英事業(学資【奨学金・入学準備金】の貸与事業)

入学準備金制度を平成 26 年 11 月より開始

⑤ 役員: 会長 1 名 副会長 2 名 理事 6 名 書記 1 名

会計 1 名 監事 2 名 評議員 16 名 計 29 名

(3) 貸与・償還

① 奨学生の資格

- ・本市に 3 年以上住所を有する本市民の子弟又は 3 年以上住所を有する者であること。
- ・学業、操行ともに優秀であり、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者であること。
- ・学校教育法(昭和 22 年法律第 6 号)第 1 条に定める大学(大学院及び短期大学を含む。通信制を除く。)又は同法第 124 条に定める専修学校のうち修業年限 2 年以上の専門課程に在学している学生。(入学準備金は、入学予定の者)

② 奨学生の募集人数、募集時期(入学準備金は、平成 26 年 11 月より開始)

区分	募集人数	募集時期
奨学金	5 名程度(予算の範囲内において増減)	毎年 4 月～4 月末日
入学準備金	前期、後期を合わせて 15 名程度 (予算の範囲内において増減)	前期: 毎年 6 月～6 月末日 後期: 毎年 11 月～11 月末日

③ 貸与の区分、期間、金額

区分	期間	金額(年額)
奨学金	毎年度 6 月から翌年 3 月まで 10 ヶ月間貸与 貸与生の採用年度より最短就業年限の終期まで	下記金額より選択 300,000 円 400,000 円
	※奨学金の貸与方法は、毎月貸与、年 2 回貸与のいずれかを選択	
入学準備金	前期: 7 月から 10 月の期間に貸与(1 回限り) 後期: 12 月から翌年 3 月の期間に貸与(1 回限り)	500,000 円

④ 償還の区分、期間、金額

区 分	期 間	金額(月額)
奨 学 金	貸与が終了した月の6ヶ月後から貸与総額を完納するまで	貸与年額の1/20
入学準備金	卒業若しくは、退学した月の6ヶ月後から貸与額を完納するまで	貸 与 額 の 1/40

⑤ 貸与の状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
奨 学 金	新規	5名	5名	6名	13名	3名
	継続	9名	8名	9名	12名	18名
入学準備金	前期	3名	4名	9名	3名	3名
	後期	9名	11名	6名	11名	4名
合 計		26名	28名	30名	39名	28名
貸与総額(円)		11,900,000	13,330,000	14,650,000	18,750,000	13,150,000

貸与奨学生総数(令和元年度末 現在)

奨学金	入学準備金	合 計
308名	72名	380名

⑥ 償還の状況

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
償 還 金(円)	9,325,000	11,970,000	9,952,500	9,177,500	9,920,000

(4) 寄付金・補助金

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
寄 付 金	1,110,000	1,430,000	650,000	2,450,000	1,720,000
市からの拠出金	1,920,000	1,920,000	1,920,000	1,920,000	1,920,000
合 計(円)	3,030,000	3,350,000	2,570,000	4,370,000	3,640,000

4. ぎのわん教育の日

市民の教育に対する関心を高め理解を深めるとともに、地域全体で教育の充実と発展を図る取組を推進するため、平成 27 年度より 11 月 1 日を「ぎのわん教育の日」に制定。11 月を「教育月間」として家庭・学校・地域・社会全体で教育に対する気運を高めるため、様々な取組を推進する。

また、本市の学校教育、社会教育及び学術文化その他教育の振興発展に貢献し、他の模範として推奨に値する業績、若しくは善行があったと認められる個人又は団体に対し表彰をする。

(1) 宜野湾市教育委員会表彰式について

日時：令和元年 11 月 1 日(金)15:00～17:00

場所：宜野湾市中央公民館(中央公民館集会場)

参加対象者：小中高校生、PTA、教育関係者、社会教育関係団体等 約 220 人

教育講演：「僕の行く場所がこどもたちの居場所」
～待つ支援から探す支援へ～

講師：武藤 杜夫氏(日本こどもみらい支援機構代表)

(2) 令和元年度表彰者一覧

功労賞

①教育、学術、文化及びスポーツの振興発展に貢献し、その功績が顕著なもの

②学校又は地域でのボランティア活動に貢献し、その功績が顕著なもの

功労賞 13 名			
氏名(団体名)	所属	氏名(団体名)	所属
島尻 牧子	大謝名小学校	大城 和子	生涯学習課(MOA 山月光輪花)
田盛 千恵美	大謝名小学校	書道サークルみやらび	—
富名腰 義政	はごろも小学校(宇地泊区自治会)	棚原 明	大山小学校
幸地 賢治	学務課(眼科クリニック幸地)	西村 正昇	嘉数小学校(真栄原区老人会)
川満 広美	普天間小学校	安村 哲弘	青少年サポートセンター
中村 絹江	真志喜中学校	島崎 毅	青少年サポートセンター
波平 道子	生涯学習課(宜野湾市婦人連合会)		

活躍賞

①有益な調査、研究、発明、発見又は工夫考案をしたもの

②学習、文化活動又はスポーツに関する大会において優秀な成績を収めたもの

③特に他の模範となる行為があったもの

活躍賞 11 名			
氏名(団体名)	所属	氏名(団体名)	所属
玉城 芽依花	普天間第二小学校	上原 梨恵子	普天間中学校
宮城 日彩	嘉数小学校	宜野湾ポニーズ	—
ステンゼル仁誓	嘉数小学校	川越 桜	普天間第二小学校
福里 昊真	嘉数小学校	川越 愉尊	
嘉数小学校音楽部	嘉数小学校	川越 識暖	
所 純平	長田小学校	普天間中学校 ボランティア委員会	普天間中学校
真栄城 弓吏	長田小学校		